

解説と指導のポイント付き!

みんなが知らない! 南アフリカのこと

ワークシート

1. 「南アフリカ」の冊子を読んで、興味をもったこと、疑問に思ったことは何でしょうか。
.....
.....
2. 南アフリカがかかえている課題を解決するために、
どういう取り組みをしたらよいと思いますか。
あなたの考えを書きましょう。
.....
.....
3. 将来、南アフリカで仕事をするとしたら、あるいは、南アフリカの人と
いっしょに仕事をするとしたら、どんな仕事をしてみたいと思いますか。
それはなぜでしょうか。
.....
.....

年 組 氏名 _____

紙教材裏表紙の
ワークシートを
授業の振り返りに
活用ください。



活用の手順

- ① 「南アフリカ」に対して知ったこと、興味をもったことを、まず、生徒同士で対話する時間をつくる。
- ② 各自がワークシートに自分の意見を記入。
※裏表紙に直接書き込むか、教師が前もって、人数分のコピーをとって配り、書き込んで回収してもよい。
- ③ 記入したワークシートは、各自のポートフォリオに加える。

ワークシートのねらい

- 感想を文章化する作業を通して、自分の興味・関心を認識し、今後の行動につなげる。
- 国際社会に対する視野を広げる。
- 国際協力の可能性と大切さに気づく。
- キャリア教育の視点でアフリカとのつながりを考えることで、職業の選択肢を広げる。

みんなが知らない!
南アフリカ
のこと

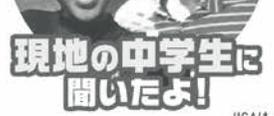
現地の中学生に
聞いたよ!

2021年5月1日 初版発行
 発行：独立行政法人 国際協力機構(JICA)
 本書に関するお問い合わせ：JICAアフリカ部アフリカ第三課
 〒102-8012
 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル
 Tel：03-5226-8215(年末年始土日祝日を除く9:30~17:45)
 E-mail：6rta3@jica.go.jp
 URL：https://www.jica.go.jp/



監修：天笠茂(千葉大学 名誉教授)
 佐藤千鶴子(日本貿易振興機構 アジア経済研究所 主任研究員)
 落合雄彦(龍谷大学 法学部 教授)
 編集制作：株式会社 ワン・パブリッシング
 編集協力：株式会社WILL
 イラスト：伊藤美樹
 デザイン：chocolate.

国連SDGs HP(<https://www.un.org/sustainabledevelopment/>)
 The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.



JICAは、日本の政府開発援助(ODA)を行う機関として、開発途上国への開発協力を実施しています。

教材 『みんなが知らない南アフリカのこと』



教材の構成と特徴

『みんなが知らない南アフリカのこと』は、南アフリカ共和国について知り、興味を抱くための中学生向け動画・紙教材です。アフリカ編動画・紙教材と組み合わせての使用で、「南アフリカ」に対するより深い理解や、生徒の視野の広がりが期待できます。それぞれの教材の構成や特徴は、以下の通りです。

A アフリカ編動画

ポイント
再生時間は約4分。「アフリカ」に対する生徒の興味を引き出すのに適した教材です。導入場面での使用が効果的です。

B アフリカ編紙教材

目次

- ・巨大な大陸アフリカ!
- ・けたちがいのダイバーシティ!
- ・世界がうらやむ資源の宝庫!
- ・注目のアスリートがひしめく!
- ・身近なモノでつながっている!
- ・人もこんなにつながっている!
- ・こんなふうに進んでいくよ!

ポイント
「アフリカ」の概要を学ぶための教材です。「アフリカ」がもつけたちがいの多様性から、課題解決の方向性まで、多角的に示しています。

C 南アフリカ動画

ポイント
再生時間は約6分。「南アフリカ」について「もっと知りたい」気持ちを引き出すのに適した教材です。導入場面での使用が効果的です。

D 南アフリカ紙教材

目次

- ・ストーリー
- ・南アフリカってどんな国?
- ・南アフリカの中学生のこと
- ・大都市と自然が隣り合わせの国
- ・まじり合う、さまざまな文化!
- ・つながってる!
- ・日本と南アフリカ

ポイント
「南アフリカ」がもつポテンシャルや課題を解説。その課題にJICAがどう協力して、解決を模索しているかがわかります。

教材使用パターン

4種類の教材は関連性のある構成になっていますが、状況に応じて切り離して学習するなど、さまざまな使い方に対応します。

ショート (50分×1~2コマ)

Aは、できれば**C**の授業前に、学級活動などの空いた時間を利用して視聴するとよいでしょう。また**B**は、読む学習にも活用できる教材です。**C**の授業前に配布し、生徒が読んでおくことで**C**の授業の下地をつくることができます。



C 南アフリカ動画

所要時間例：10~20分

南アフリカの基本情報を確認し、南アフリカがもつ課題やJICAの活動に対する興味を引き出します。

D 南アフリカ紙教材

所要時間例：40~80分

南アフリカについての深い学びにつなげられます。ワークシートの活用や、グループ学習など、学校の状況に合わせて展開できます。

スタンダード (50分×2~3コマ)

A アフリカ編動画

所要時間例：10~20分

動画の視聴後に感想を言い合うなど、アフリカに対する興味を引き出す対話を促していきます。

Bは、読む学習にも活用できる教材です。**C**の授業前に配布しておくことで、生徒同士の情報共有につながります。



C 南アフリカ動画

所要時間例：30~40分

南アフリカの基本情報を確認し、南アフリカがもつ課題やJICAの活動に対する興味を引き出します。

D 南アフリカ紙教材

所要時間例：50~100分

南アフリカについての深い学びにつなげられます。ワークシートの活用や、グループ学習など、学校の状況に合わせて展開できます。

フル (50分×4~5コマ)

A アフリカ編動画

所要時間例：10~30分

動画の視聴後に感想を言い合うなど、アフリカに対する興味を引き出す対話を促していきます。

B アフリカ編紙教材

所要時間例：40~70分

対話しながら見開きごとのテーマで読むことができます。考察の発表、調べ学習、ポートフォリオなど、導入、展開、まとめに幅広く活用できます。

C 南アフリカ動画

所要時間例：10~30分

南アフリカの基本情報を確認し、南アフリカがもつ課題やJICAの活動に対する興味を引き出します。

D 南アフリカ紙教材

所要時間例：90~120分

南アフリカについての深い学びにつなげられます。ワークシートの活用や、グループ学習など、学校の状況に合わせて展開できます。



授業への取り入れ方例

APPROACHES TO TEACHING

年間指導計画にどう位置づけるか (例)

この教材は、「総合的な学習の時間」の国際理解教育での活用が想定されますが、内容の一部を道徳や各教科学習をはじめ、横断型の学習に位置づけても活用できます。また、教育活動全体を通じて行われるキャリア教育にも適しています。

教材には、生徒が「アフリカ」と「南アフリカ」について多面的に理解し、関心をもつとともに、日本との関わり

り及び国際協力について理解するというねらいがあります。

生徒が興味をもちやすい話題を入り口として、SDGsやアフリカ諸国の課題にもふれる構成になっています。探究課題の設定や、課題解決に向けた主体的で対話を通じた協働的な学習などに生かしてください。

年間指導計画の記載例を、以下に示します。

国際理解教育(総合)	道徳	社会ほか(教科)
「南アフリカ」について学ぶことで、異文化の存在を認める寛容性を身につけられるようにする。学ぶにあたっては、適切な情報を収集したり選択したりできるメディア・リテラシーを身につけられるようにする。	「南アフリカ」について学び、さまざまな価値観をもつ人と尊重し合いながら生きるために視野を広げられるようにする。正解が1つではなく、自ら考え、多面的・多角的な見方ができるようにする。	「南アフリカ」についての多面的・多角的な考察を通して、国際社会で主体的に生きるための資質・能力の基礎を養えるようにする。個人の社会的な活動への参画が国の平和や繁栄につながることに気づくようにする。

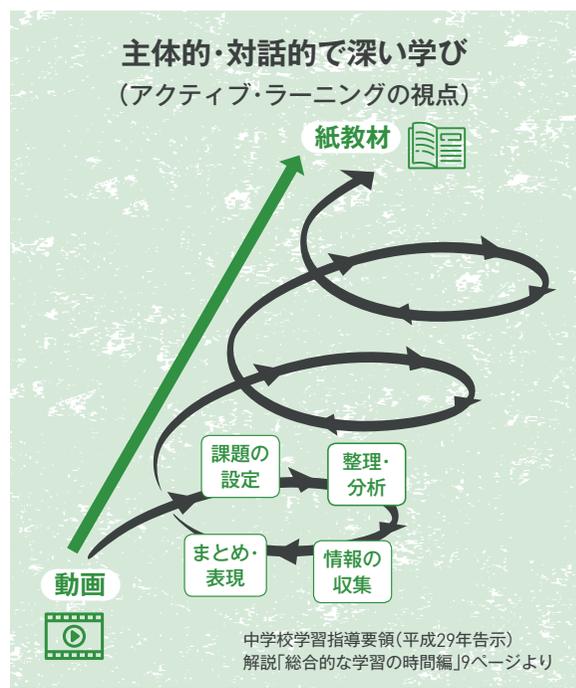
平成29年・30年改訂 学習指導要領との関連

何ができるようになるか

「アフリカ」特に「南アフリカ」の文化や歴史から課題を理解する「知識及び技能」、適切な情報を収集し考察した結果を人に伝える「思考力、判断力、表現力等」、学びを自分の生き方に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育むことができます。

どのように学ぶか

動画教材では、主体的に学ぶための興味・関心を引き出すことができます。紙教材では、考えたり話し合ったり調べたりする活動を通して、主体的・対話的に学ぶことができます。よりよい課題解決に向けた「深い学び」にも適しています。



「総合的な学習の時間」の国際理解教育

学習の成果を存分に発揮するゴール(まとめとなる活動)を、単元の授業時数に応じて設定しましょう。

生徒が「アフリカ」や「南アフリカ」を身近に感じ、自分のこれからの生活に関わるものの一つとしてとらえるようになる姿を想定するのがポイントです。

学年全体で

- * クラス、または学年全体で学習発表会を行う
- * 次年度入学してくる小学6年生に向けて伝えたい内容をまとめ、出前授業をする



教科横断的に

- * ワークシートをまとめ、ポートフォリオに加える
- * 調べ学習の成果を壁新聞にして、掲示する
- * 学習して得た情報や「南アフリカ」のイメージをもとに自由に作品をつくり展示する
- * 「南アフリカ」の課題から自分にできることを考え、それをポスターなどで表現する
- * 「南アフリカ」の魅力を伝えるCM映像をつくるなど

各教科の授業でも

各教科の授業では、教材の一部を、学習事項と関連づけて活用することができます。下記は、活用方法のほんの一例です。

- * 国語科…紙教材のストーリーを読んだ感想を文章にまとめる
- * 社会科…紙教材の内容に関連する「南アフリカ」のニュースを、ネットなどから探して読んでみる
- * 数学科…相似や比などの図形の学習と関連づけて、「南アフリカ」の国旗を作図してみる
- * 理科…「南アフリカ」のような気候で育つ植物について気づいたことを言う

- * 音楽科…この楽器は何でしょう？ この楽器の音はどれでしょう？ といったクイズをする
- * 美術科…「南アフリカ」の伝統的な衣装の色合いや模様の中に、造形的な美しさを感じ取る
- * 技術科…ICT(情報通信技術)について、日本の普及状況と比べて考える
- * 家庭科…「南アフリカ」の料理やレシピを調べる
- * 保健体育科…「南アフリカ」で人気のスポーツについて調べる
- * 英語科…「南アフリカ」の公用語や地域ごとに違う言葉を調べて、聞いたり話したりしてみる

たとえば数学で…

このページのグラフと日本のグラフを比べて…の計算をすると…

見開きごとのテーマがあるので各教科に取り入れやすい!



指導計画と授業展開の例

TEACHING PLANS AND EXAMPLES

授業展開例 (フルバージョン)

ねらい

- 「南アフリカ」について理解を深める。
- 多様な文化を認める寛容な心を身につける機会とする。
- 国際協力を、自分の生活とのつながりの中でとらえ、これからの生活に生かそうとする態度を育てる。
- 「南アフリカ」のもつ課題に気づき、身近な問題に結びつける。
- 課題を解決するために必要な知識及び技能を身につける。

評価の観点

知識・技能

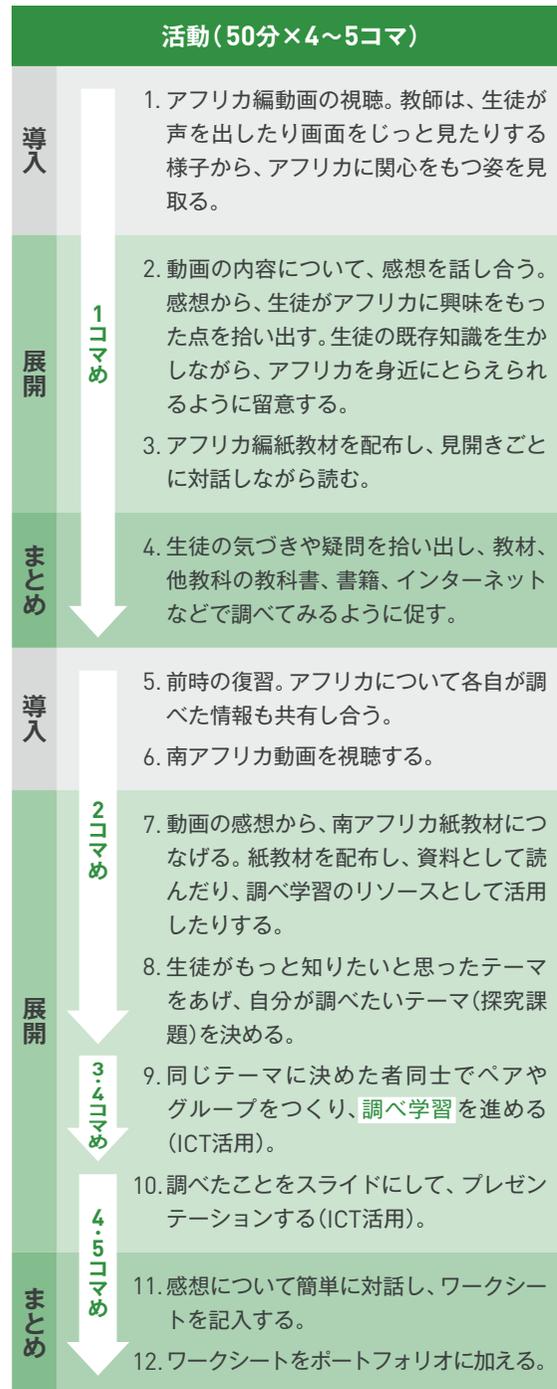
- 教材を活用し、人々の暮らし、産業、地理、気候、歴史、文化などを通して「南アフリカ」を知る。
- 地図帳や教科書など、各教科の資料や教材をリソースとして再活用する。

思考・判断・表現

- 「南アフリカ」とのつながりを身近なものとしてとらえ、自ら学習テーマを設定する。
- 学んだ内容を分析・再構築し、他者にわかりやすく説明したり作品として表現したりする。

学びに向かう力

- ペアやグループでの協働学習を通して、友達と交流したり他者の考えにふれたりして、人との違いや多様性を楽しみながら学び合う。



ポイント①

社会科の地図帳などの生徒の持ち物や、学校図書館の本なども活用しましょう。

ポイント②

解説が必要な用語は、8ページ以降の「指導のポイント」に掲載があります。

ポイント③

ワークシートについて紙教材の裏表紙に、授業のまとめで活用できるワークシートを用意しています。



このページでは、主に総合的な学習の時間の「国際理解教育」にこの教材を位置づけたときの単元のねらい、評価の観点、授業展開や評価の例を紹介しています。

学習活動と評価 (例)

この教材は ①知らない文化に興味をもって調べる活動、②異文化を認め合う寛容性を育む話し合い活動、③「南アフリカ」のもつ課題や国際協力について考察する活動など、さまざまな学習活動に対応します。それらの活動での生徒の姿を見取り、評価につながります。

ここに生徒の活動の姿の見取りと評価の例(所見)を紹介します。

興味をもって聞く



冊子を読んで「南アフリカ」に興味をもち、自らの感想を周囲に伝えることができました。

疑問を抱く



「南アフリカ」のもつ課題に関心や疑問を抱き、それを自らの学習テーマとして設定し、調べ学習にも主体的に取り組みました。

日本とのつながりや、自分とのつながりについて考える



資料から得た情報を日本と比べて考察し、「南アフリカ」のもつ課題を自分の身近な問題としてとらえることができました。

調べたテーマについて日本がどう関わっているかを考察し、結果をわかりやすくまとめてプレゼンテーションすることができました。

考えを話し合う



「南アフリカ」について調べた情報について、ペアの人とよく話し合いながらプレゼンテーションの内容を決めていくことができました。

「南アフリカ」のもつ課題に着目し、自分で調べた情報や友達が調べた情報を整理しながら話し合いを進めることができました。

発展的な学習活動

この教材では、「アフリカ」特に「南アフリカ」について知るなかで、その国のもつ課題とSDGsとを結びつけて、よりよい解決方法について考えていくことが、一つの発展的な学習活動として考えられます。

また、JICAなどの国際協力機関の存在に気づき、どのような活動をしているのかを調べたりして、自分はどのような社会的活動ができるかなど、生徒が主体的に進路を選択していくためのキャリア教育にもつながります。

「南アフリカ」のもつ課題をSDGsと関連づけて考察し、よりよい解決方法について話し合うことができました。

国際協力機関がどのような活動をしているかを調べ、自分が将来、どのような活動に参画できるかについて考えることができました。

[所見例]

発問例

- ①(事前に写真を用意)南アフリカと日本の四季を見比べて、感想を言ってみよう。
……理科
- ②プラチナは、自動車の何に使われているのかな?
……理科
- ③穀物の粉を練ってつくる料理はいろいろあるよ。知っているものはある?
……家庭科
- ④ジャズフェスティバルの動画を見てみよう。
……音楽科

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

用語解説

- *1 「プラチナ」
白金とも呼ばれる貴金属。指輪などの装身具や、自動車の排ガス処理のための触媒など、幅広い用途がある。

*お役立ちサイト

南アフリカ共和国基礎データ(外務省)
https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/s_africa/data.html

南アフリカ観光局
<http://south-africa.jp/>

在南アフリカ共和国日本国大使館
https://www.za.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

南アフリカってどんな国?

1 自然だけじゃなく、大都市もある!

2 ダイヤモンドなどの鉱物が有名です!

3 いろいろな種類の料理を食べます。

4 ダンスミュージックや、ジャズ音楽などが人気。

データで見る南アフリカ

●年間平均気温と降水量(プレトリア)

●人口構成(2019)

●主要な産業(2019)

指導のポイント

下段のデータを見て、まずは生徒に南アフリカがどんな国か、想像して促すことを促します。南半球に位置するため、気温や季節は日本と正反対になっています。国土は日本の3倍以上と広大で人口

度が低い、公用語が11もある、30歳未満の若者が半数以上を占めるなどの日本と違う点を押さえましょう。人口構成が釣鐘型で、他のアフリカの国に多い富士山型ではない点も取り上げてみましょう。

アクティブラーニング!のポイント

生徒一人一人が探究課題(学習テーマ)を絞ったあとは、グループなどでの学習も進められます。発表資料をPCやタブレットで作成するなど、ICT(情報通信技術)の活用にもつなげていきましょう。
文章や写真に加え、音声や動画なども用いて発表資料をつくと、より表現力のある発表になります。

調べ学習に使える!

検索ワード

- 南アフリカ 鉱物資源 ダイヤモンド
- 南アフリカ料理 プラチナ
- 南アフリカ ダンスミュージック

南アフリカの中学生のこと

1 どんな名前が多い?

2 何の教科が好き?

3 好きな食べ物は?

4 将来、何になりたい?

5 趣味は何ですか?

6 日本は?

7 日本は?

8 日本は?

指導のポイント

南アフリカでは多様な言語を話す人々が住むため、特に初等学校低学年の指導言語は住む場所や通う学校により異なります。公立学校に加え、私立学校や全寮制の学校に通う子どももいます。
また、最新設備のある学校に通う子どもから、住んでいる地方によっては学校までの長い距離を歩いて通う子ども、さまざまな事情で義務教育を続けられず中退してしまう子どもなど、多様な境遇の子どもがいるという点を丁寧に説明してください。
紙教材では実際に南アフリカの中等学校に通う生徒が回答していますが、あくまで一例であり、平均的な南アフリカの生徒というわけではありません。

教育制度の概要

- 学校制度
7・5・4年制(大学はコースにより3~4年) 新学期は1月に始まる
- 義務教育期間
6~15歳(1~9学年)
- 学期制
4学期制(1学期:1~3月/2学期:4~6月/3学期:7~9月/4学期:10~12月)
- 教育概要・特色
 - ・初等学校(小学校):6~13歳/中等学校:13~18歳
 - ・義務教育は6~15歳の9年間
 - ・中等学校の最終学年(日本の高校3年生にあたる)の最後にマトリックと呼ばれる年1回の国家試験があり、合格すれば卒業となる。また、試験の成績に応じて大学入学の資格を得る。
- 粗就学率*
小学校 99%/中等学校前期 101%/中等学校後期 100%
(UNESCO"National Monitoring"2018年)
*粗就学率(総就学率)を記載しており、留年や入学の遅れなど、定められた就学年齢でない子どもの就学が含まれるため、100%を超えることがあります。



発問例

- ⑤自分の名前と同じ意味をもつ名前、表の中にあるかな?
……国語科
- ⑥「クールで楽しい」って、日本のどんなところだと思う?
- ⑦一日の中で、何時が好き? 何をしている時間? 英語で言ってみよう。
……英語科
- ⑧車の修理の手伝いだって! 君は家で何の手伝いをしているかな?
……家庭科

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

発問例

- ①自分の住む地域では、都市と自然が隣り合っていると思う？
- ②世界遺産って、どんなものだろう。南アフリカにどんな世界遺産があるか調べてみよう。
……社会科
- ③今までに見たことがあるいちばん大きい花は？どんな花だった？
……理科
- ④スプリングボックって何科の動物だろう。
……理科

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

もっと知りたい南アフリカ② 大都市と自然が隣り合わせの国

南アフリカは、アフリカ大陸で最も発展している国の一つです。広い国土にはいくつもの都市が点在しています。たとえば、南アフリカの立ち寄り地ヨハネスブルグは、「神の山」とも呼ばれる山を背景に、鉱山都市として発展した大都市です。近くには行政首都プレトリアがあります。南西側の都市、ケープタウンは、ヨーロッパとアジアをつなぐ船の補給地として栄えました。市街の近くには先住民のクワザルンにより、「神の山」とあがめられてきたテーブルマウンテンがそびえ立ちます。また東部のダーバンは、アフリカ最大の港をかかえる沿岸都市です。

これらの都市が少し離れた、ダイナミックな自然があることも、この国を魅力的にしています。南アフリカは、観光地としても人気があるのです。

南アフリカは、アフリカ大陸で最も発展している国の一つです。広い国土にはいくつもの都市が点在しています。

たとえば、南アフリカの立ち寄り地ヨハネスブルグは、「神の山」とも呼ばれる山を背景に、鉱山都市として発展した大都市です。近くには行政首都プレトリアがあります。南西側の都市、ケープタウンは、ヨーロッパとアジアをつなぐ船の補給地として栄えました。市街の近くには先住民のクワザルンにより、「神の山」とあがめられてきたテーブルマウンテンがそびえ立ちます。また東部のダーバンは、アフリカ最大の港をかかえる沿岸都市です。

南アフリカは、アフリカ大陸で最も発展している国の一つです。広い国土にはいくつもの都市が点在しています。

たとえば、南アフリカの立ち寄り地ヨハネスブルグは、「神の山」とも呼ばれる山を背景に、鉱山都市として発展した大都市です。近くには行政首都プレトリアがあります。南西側の都市、ケープタウンは、ヨーロッパとアジアをつなぐ船の補給地として栄えました。市街の近くには先住民のクワザルンにより、「神の山」とあがめられてきたテーブルマウンテンがそびえ立ちます。また東部のダーバンは、アフリカ最大の港をかかえる沿岸都市です。

南アフリカは、アフリカ大陸で最も発展している国の一つです。広い国土にはいくつもの都市が点在しています。

たとえば、南アフリカの立ち寄り地ヨハネスブルグは、「神の山」とも呼ばれる山を背景に、鉱山都市として発展した大都市です。近くには行政首都プレトリアがあります。南西側の都市、ケープタウンは、ヨーロッパとアジアをつなぐ船の補給地として栄えました。市街の近くには先住民のクワザルンにより、「神の山」とあがめられてきたテーブルマウンテンがそびえ立ちます。また東部のダーバンは、アフリカ最大の港をかかえる沿岸都市です。

もっと知りたい南アフリカ③ まじり合う、さまざまな文化!

南アフリカには、もともと住んでいたクワザルン人や黒人のほか、ヨーロッパやアジアにルーツをもつ人々がたくさん暮らしています。さまざまな文化が結びつき、それらはときに融合し、新しい、面白いものも生まれています。料理、音楽、ファッションなど、さまざまな文化が結びつき、それらはときに融合し、新しい、面白いものも生まれています。

南アフリカには、もともと住んでいたクワザルン人や黒人のほか、ヨーロッパやアジアにルーツをもつ人々がたくさん暮らしています。さまざまな文化が結びつき、それらはときに融合し、新しい、面白いものも生まれています。

料理、音楽、ファッションなど、さまざまな文化が結びつき、それらはときに融合し、新しい、面白いものも生まれています。

公用語と国歌

多くの民族、民族が住む南アフリカには、11の公用語があります。それを発表するのが国歌です。特に黒人の多い公用語から成り立ち、黒人に公用語が変更されます。1997年、マンデラ大統領によって制定されました。

国歌は、黒人の多い公用語から成り立ち、黒人に公用語が変更されます。1997年、マンデラ大統領によって制定されました。

国歌は、黒人の多い公用語から成り立ち、黒人に公用語が変更されます。1997年、マンデラ大統領によって制定されました。

発問例

- ⑤英語とズールー語で、「おいしい!」と試してみよう。
……英語科
- ⑥南アフリカ国歌を聞いてみよう。歌ってみよう。
……音楽科(英語科)
- ⑦南アフリカのダンスミュージックで踊ろう。
……保健体育科
- ⑧ンデベレ人の伝統模様ってどんな特徴がある?
……美術科

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

アクティブラーニング!のポイント

たとえば、社会科の都市化やグローバル化について学ぶ単元や、理科の生物や植物を学ぶ単元でこのページを活用するなど、教科横断的な学習が可能です。また、料理を実際につくってみる、国歌を歌ってみる、伝統のデザインを取り入れた作品づくりなど、体験的な学習につなげましょう。

調べ学習に使える! /

検索ワード

- ケープタウン テーブルマウンテン
- 南アフリカ 世界遺産 植物
- 南アフリカ 野生動物 ビッグ・ファイブ
- ンデベレ 伝統模様

指導のポイント

大都市

南アフリカの国土は広く、いくつもの都市が点在します。特にヨハネスブルグは、19世紀のゴールドラッシュをきっかけに鉱山都市として発展した歴史を押さえて、「アフリカ」という言葉のもつイメージからかけ離れた大都市の様子を想像できるようにします。

気候と自然の多様性の関連

砂漠やサバナ以外にも、日本と似た温暖湿潤な地域もある点を押さえます。さまざまな気候が生む大自然、動植物については、南アフリカ固有のものを調べることを促しましょう。



指導のポイント

食文化について

ポポティが東南アジアにルーツをもつケープマレー料理であることなどを切り口に、黒人、オランダ系やイギリス系移民、かつて奴隷としてインドネシアから連れてこられた人々、労働者や商人として移住してきたインド系の人々、近年ではビジネスで来た中国系の人々などが、南アフリカに豊かな食文化をもたらしている歴史を説明しましょう。

国歌について

5つの公用語からなる国歌は、南アフリカに住む人々の多様性と共存への願いを象徴しています。マンデラ大統領の意向で、白人政権時代の国歌と、アフリカの黒人解放の歌を合わせて一つにした経緯があります。「虹の国」を目指した国民の思いを説明し、生徒が共感をもつようにしましょう。実際に国歌を聞いてみるのもよいでしょう。

ンデベレ人について

ンデベレ人の文化は、南アフリカでも最も個性あふれる文化の一つです。女性は民族衣装にカラフルなビーズのアクセサリ、首や腕、足もとには幾重にもなるリ

ングを飾ってファッションを楽しみます。また、住居の幾何学模様は壁画アートとしても有名です。事前に見つけておいた写真を見せながら、生徒に説明しましょう。

用語解説

*1 「固有種」

特定の限られた地域にしか生息していない生物種のこと。

*2 「スプリングボック」

ウシ科アンテロープの一種。トビカモシカともいい、遊びのときなどに4本の足をそろえて弾むようにジャンプすることがある。



14～15ページ

南アフリカの課題とそれに対するJICAの協力

*下線部(~~~~)は、SDGsの169のターゲットからの記載です。(SDGs CLUB/UNICEF参照。https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/)

発問例

- ①(授業前に生徒が調べてきて)身のまわりに南アフリカ産はあった? 何があった?
- ②ダイヤモンドやプラチナについて知っていることはある?
.....理科
- ③アフリカに進出している日本企業について調べよう。
.....キャリア教育
- ④ルイボスティを飲んだことがある? どんな味?
.....家庭科

*発問を取り入れやすい教科の一例を示していますが、ほかの教科でも取り入れられます。

1 アフリカから日本に入ってきているものたくさんあります。まずあげられるのは鉱物、ダイヤモンドや、プラチナなど、豊富な鉱物が日本を富める世界に輸出されています。南アフリカは、南アフリカ発展のきっかけとなった鉱物です。19世紀後半に南アの

2 ひらほの最大ダイヤモンドメーカー、オプティマ(オプティマ)が南アフリカが発見され、二階半を築いて世界中から人が集まってきました。その後、貿易品でもあった南アフリカの植民地の支配権を握って、ヨーロッパの国で争いが起きます。そしてアパルトヘイト政策が生まれ、黒人と白人の間に溝が広がっていったのです。また地方には、黒人が多く住んでいますが、雇用機会に限られています。そのため地域によっては貧困率が高く、都市と地方の格差も生まれています。貧しい地方からは、大都会や鉱山などへ山岳者に行く人が多くいます。

JICAの協力
職業訓練校の充実で、手に職を!
南アフリカは、現在20%を占めている失業率も、2020年までに5%に改善することを目標にしています。最速的な教育に力を入れて、働きたい人が技術を身につけることを職業訓練校にしており、JICAでは、日本人の専門家や職業訓練校に派遣して、技術士の育成に協力しています。

3 一方、南アフリカには、日本製のレストラックが並び、日本車が走っています。南アフリカは、自動車を生産した企業を育成して製造業も発展した。アフリカ全体の経済大国の一つです。日本からもたくさん車の輸出が出ていて、アフリカ大陸でもっとも150社の日本企業が輸出し、1400人(2018年)もの日本人が暮らしています。

4 読書の習慣を育てよう! 南アフリカ産! フランスやドイツ、中国で売られている本もありません。しかし南アフリカは、フランス語が話せる国です。また、ルイボスティも売られています。ルイボスティは、乾燥したコセンが原料で、料理に使われるので、健康に良い成分として世界中で親しまれています。

アクティブラーニング!のポイント

たとえば「南アフリカは、アフリカ全体の経済を牽引する一方、高い失業率の問題があり、日本は人材育成などに協力している」という大テーマから、グループごと的小テーマを設定して調べ学習を進めると、学級や学年全体で対話的な学習活動ができます。

調べ学習に使える!!

検索ワード

- 南アフリカ ダイヤモンド 採掘
- 南アフリカ 自動車メーカー
- 南アフリカ 特産品 日本

指導のポイント

鉱物の輸出入状況などを事前に調べておき、質問があれば簡単に説明しましょう。貿易資料などから考察し、貿易相手国としてのつながりにも気づくようにしましょう。産業インフラが比較的整っている国です。日本の自動車会社が工場をつくるなど、南アフリカの人々とともに働く日本人も多くの点を押さえましょう。

南アフリカの課題について

格差の問題
基礎学力のアップがなぜ貧困から抜け出す手立てなのか、その理由を考えてみましょう。考察結果を自分に引き寄せ、教育の大切さに気づく生徒の姿を見取りましょう。

高い失業率
2020年の南アフリカの失業率は30%程度です。クラスの数に置き換えて、学級で何人が失業していることになるかなど、具体的なイメージをもてるようにしましょう。

(くわしくは15ページ)



SDGs 4「読み書きや計算ができるようにする」は、働く力のもとになる基礎学力の必要性を示しています。JICAは、専門家を派遣して、小学生の算数のカリキュラムの改訂や指導書の作成などに協力しています。また、海外協力隊(旧名称:青年海外協力隊)として日本の教職員を派遣し、各教科の専門知識や指導スキルを伝えるなどの活動を行っています。

動画教材に出てくる赤塩さんは、日本の小学校教員でありながら、青年海外協力隊(現名称:海外協力隊)として南アフリカに派遣され、地方で教える教師に、教え方を伝えるなどの協力を行いました。



SDGs 4と**9**は、「働きがいのある人間らしい仕事ができるようにする」「さまざまな産業での技術能力を伸ばす」必要性を示しています。南アフリカでは、人種隔離政策が行われていた時代に、黒人が社会的・経済的に排除されていたため、人種隔離政策撤廃時に、職業訓練校で教育・訓練を受け、技術をもった黒人はごくわずかでした。人口の大部分を占める黒人層が技術を習得することは、製造業に就業する間口を広げるだけでなく、国の製造業を支える人材を輩出する上でも重要です。

JICAは、南アフリカの職業訓練校で、組立・旋盤に関する訓練教材の作成や教員の能力向上、学生の就職支援などに協力しているのに加え、JICA海外協力隊を派遣し、各種技術を指導しています。職業訓練校を卒業した若者が安定した職を得られるよう、産業界が求める技術の習得を目指しています。

JICAとは

JICA(独立行政法人 国際協力機構)は、日本の政府開発援助(ODA)を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。くわしくは、アフリカ編教材の指導書やJICAの公式サイトでも確認できます。(https://www.jica.go.jp/index.html)

南アフリカにおいては、「成長の加速化と貧困層の底上げ」を開発目標に、産業人材育成、社会的弱者の経済・社会参加の促進などの分野で協力活動を行っています。上記は、その一例です。

国際協力について知る!!

検索ワード

- 国際協力 日本 JICA
- 国際協力 国連 SDGs
- JICA 各国における取り組み 南アフリカ